

我孫子市史研究センター・会報272号 (通算 579 号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

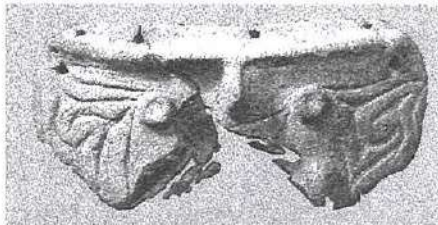
発行日 令和 7 年 1 月 28 日

市史研結成 50 周年記念 歴史講演会

『我孫子の縄文時代』

～下ヶ戸貝塚と最新の発掘調査成果から分かること～

縄文時代は今からおよそ 13,000 年前に始まり、2,300 年前頃まで続くといわれる日本独自の歴史区分です。縄文時代については縄文土器を使用する、狩猟採集を主な生業とする時代として義務教育から学校の歴史の授業で教わるため、日本人であればどなたでも聞き覚えのある単語でしょう。



上：人面土版 下：貝製品と出土貝類

では、そんな縄文時代に日本各地それぞれの地域ではどのような暮らしが営まれていたのでしょうか。今回の講座では、我孫子市の縄文時代の一部を、出土した遺物が昨年度市の指定文化財になった下ヶ戸貝塚と本年度高野山で行われた最新の発掘調査の成果を基にご紹介します。



上：ミミズク土偶
下：深鉢

(画像：あびこ電脳考古博物館)

- 日時：2025 年 2 月 19 日 (水) 午後 2 時～4 時
会場：アビスタホール (開場 午後 1 時 30 分)
演題：『我孫子の縄文時代』～下ヶ戸貝塚と最新の発掘成果から分かること～
講師：我孫子市教育委員会文化スポーツ課・手嶋秀吾主任 (文化財主事)
定員：先着 100 名 (予約不要)
入場料：500 円 (資料代を含む、会員は無料)
後援：我孫子市教育委員会

『50 周年記念誌』の「回想・抱負文」を募集しています。

回想・今後の抱負・近況などを、1000 字位。 原稿の締切：2025 年 (令和 7) 3 月末日
原稿宛先：記念誌編集委員会 (荒井茂男・清水千賀子・宗岡恒雄・或は事務局まで)